

議題 1 令和 7 年度（令和 8 年 1 月まで）の状況について

1 入館者数（開館日数）

月	開館日数	入館者数	備考
4月	26日間	4,348人	企画展「木札の世界」開始（4/26～）
5月	27日間	4,029人	
6月	25日間	2,314人	企画展「木札の世界」終了（～6/8）
7月	27日間	3,055人	企画展「子どもたちの戦争」開始（7/19～）
8月	27日間	4,028人	企画展「子どもたちの戦争」終了（～8/31）
9月	24日間	1,929人	
10月	27日間	4,131人	企画展「海の縄文 山の縄文」開始（10/4～）
11月	25日間	2,971人	企画展「海の縄文 山の縄文」終了（～11/16）
12月	24日間	1,078人	
1月	24日間	1,663人	
2月	—	—	
3月	—	—	
合計	—	29,546人	※1月までの暫定

11月15日（開館1,958日目） 累計25万人達成

2 企画展の開催

年に3回企画展を開催し、刈谷地域の歴史の学習やさまざまな歴史資料に触れる機会を提供する。

(1) 企画展「木札の世界—木に書き残された歴史—」

ア 会 期 4月26日（土）～6月8日（日） （開催期間38日間）

イ 観 覧 料 有料 一般600円（各種割引あり[100円引]）

中学生以下、障害者及び付き添い1人は無料

ウ 観覧者数 2,555人 うち有料入館者891人

エ 展示品数 62件（100点）

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録（有料頒布、1冊1,600円）

カ イベント 講演会

・4月27日（日）「歴史資料としての木札の価値」

講師：服部光真氏（(公財)元興寺文化財研究所）（聴講45人）

・5月11日（日）「楽市と制札—淡河を中心に—」

講師：長澤 伸樹氏（仙台市博物館）（聴講34人）

展示説明会

・4月26日(土)

講師：当館学芸員(聴講14人)

この他、関連イベントとしてギャラリートーク(2回追加開催)、
木札作成体験、クイズラリー展等を実施

(2) 「子どもたちの戦争」

ア 会 期 7月19日(土)～8月31日(日) (開催日数38日)

イ 観 覧 料 無料

ウ 観覧者数 4,953人

エ 展示品数 50件(83点)

オ 印刷物 ポスター、チラシ、解説パンフレット

カ イベント 講演会

・7月19日(土)

「モノを通した「戦争の記憶」の継承は可能か？」

講師：金子 淳氏(桜美林大学教授)(聴講36人)

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、読み聞かせ、ナイトミュージアム、愛知教育大学連携イベント等を開催

(3) 「海の縄文 山の縄文—自然と共生した豊かなくらし—」

※船の科学館「海の学びミュージアムサポート支援事業」による助成金を活用

ア 会 期 10月4日(土)～11月16日(日) (開催日数37日)

イ 観 覧 料 有料 一般600円(各種割引あり[200円引・100円引])

中学生以下、障害者及び付き添い1人は無料

ウ 観覧者数 2,900人 うち有料入館者数1,777人

エ 展示品数 37件(591点)

オ 印刷物 ポスター、チラシ、図録(有料頒布、1冊1,500円)

カ イベント 講演会

・10月13日(月・祝)

「海の縄文～貝塚からみえるヒトの暮らし～」

講師：川添 和暁氏(愛知県埋蔵文化財センター調査研究専門員)
(聴講47人)

・10月25日(土)

「八ヶ岳西南麓の縄文文化を育んだ黒曜石と国宝土偶」

講師：守矢 昌文氏(茅野市尖石縄文考古館特別館長)
(聴講69人)

・11月8日(土)

「つながる縄文～刈谷市の縄文遺跡と他地域の遺跡の交流～」

講師：長田 友也氏(中部大学非常勤講師) (聴講51人)

展示説明会

・10月4日（土）

講師：当館学芸員（聴講35人）

この他、関連イベントとしてギャラリートーク、バックヤードツアーと土偶作り体験、貝輪作り体験、石器使用体験、さかなかるたなどを実施

3 常設展の開催

3ヶ月に1回程度展示替えを行い、刈谷の歴史に関する実物の資料を常時公開する。展示替えに合わせてギャラリートークを行う。

4 歴史文化の教育普及

刈谷地域の歴史文化に対する誇りと愛着を育むため、歴史文化について学ぶ機会を広く提供する。

(1) 歴史文化体験講座の開催

5月から令和8年2月まで月1回開催（年10回）

例：有松・鳴海絞り体験、クラフトバンドリースしめ縄づくりなど

(2) 簡単工作の開催

土・日・祝日に開催。（夏季、秋季には一部平日開催）

参考：参加者数のべ2, 476人（1月末時点）

(3) 市内小中学生の館内見学・体験学習の支援

・中学校1年生の「歴史ひろば」及びバックヤード見学（5月～7月）

他、子ども向けの歴史相談や体験講座

・子ども歴史体験講座、子ども歴史相談の実施

・アウトリーチプログラム

博物館の実物資料を教室へ持ち込み、指導主事が授業を行う。

「縄文時代の刈谷」、「戦争中の刈谷の様子」、「水野勝成」等（市内小中学校10校38クラスで実施）

(4) ミュージアムシアターの上映

講座室にて「刈谷偉人伝」等のDVDを毎日上映。

(5) 古文書講座（初級編）の開催

中級編を令和8年1月から3月までの間、5回の連続講座を開催（申込者数20人）

(6) 歴博ゼミナールの開催

令和8年2月1日（日）開催「三浦氏と刈谷藩」

講師：池内 敏氏（名古屋大学名誉教授）（聴講75人）

(7) 石器づくり体験の開催

令和8年2月11日（水・祝）

(8) ミニ展示「みんなで振り返ろう！スポーツ史あれこれ」（予定）

令和8年3月20日（金）～4月12日（日）

- (9) 出前講座
市民グループや団体等からの依頼があったときに出張して講座を行う。
- (10) 博学連携ニュースの発行（年5回）
市内教員向けに、アウトリーチ活動をはじめとした博学連携に関する情報を提供

5 博物館事業の啓発・広報

博物館事業（企画展等展覧会や普及活動等）の啓発や広報等を行う。

- (1) 刈谷市歴史博物館ホームページ及びX（旧 Twitter）の運営
- (2) 市民だよりへの情報提供
企画展や関連イベント、歴史体験講座の案内等随時掲載
博物館収蔵品の紹介（歴史散歩（10月からかりや歴史探訪にタイトルが変更）、かわら版、9月まで、月1回）
- (3) 博物館ニュースの発行
企画展の案内や企画展・収蔵品に関する小論等を掲載
年3回発行。6月末、9月末に発行。令和8年3月末に発行予定。
- (4) 博物館かわら版の発行（年3回程度）
企画展やイベント周知用のかわら版を制作し、小学校に配布
- (5) 令和6年度年報の発行（10月）
- (6) 研究紀要の刊行（令和8年3月頃発行予定）
学芸員等による調査・研究の成果を掲載
- (7) オリジナルグッズの制作・販売
クリアファイル・メモ帳等を販売。企画展に合わせポストカード等の製作及び受託販売

6 博物館資料の収集・保存・管理

- (1) 収集
資料収集方針に基づき、寄贈・寄託資料受入。刈谷の歴史に関わる重要な資料を資料購入要綱に基づき、古書店等から購入
購入資料
※現時点でなし
- (2) 保存・管理
館内の適切な温湿度環境の維持及び虫害の防除（通年実施）
収蔵品の修復及び什器の製作
資料の燻蒸（Co2 燻蒸、1回実施）

7 郷土資料館との連携

- (1) 各種事業への職員相互派遣
週末開催イベント、市内小中学校見学対応など

- (2) 広報活動
各種イベントの周知を連携して実施
- (3) 展示への資料提供
資料の管理は歴史博物館で対応
- (4) 連携イベントの実施
 - ・歴史博物館&郷土資料館コラボイブズラリー令和8年3月20日（金）～4月12日（日）（予定）

8 市史資料の整理及び活用

- (1) 市内外に存在する資料の調査・収集・整理・保存
- (2) 収集資料の閲覧用紙焼本の製作
- (3) 資料閲覧室における閲覧対応

9 発掘調査出土遺物の整理及び活用

- (1) 出土遺物の注記・接合作業
- (2) 発掘調査報告書作成準備
 - ※令和7年度は刊行予定なし

10 市内文化財の保護保存及び啓発

- (1) 文化財の修理及び維持管理事業への補助
 - ・市指定文化財「専光寺のクスノキ」樹勢回復
 - ・市指定文化財「井ヶ谷古窯跡群松根第3号窯」の除草
 - ・市指定文化財「地獄の絵巻物」修理（令和6年度・7年度）
- (2) 史跡めぐりの開催
年3回開催（刈谷ふるさとガイドボランティアの会へ委託）

11 その他の主な実施事業

- (1) 収蔵品管理システムの管理
歴史資料の一部公開に向けた写真撮影及びデータの整理
- (2) 民俗収蔵庫への資料移設
城町図書館の解体に伴い、寺横町（市有地）に整備した民俗収蔵庫に資料を移設（7月）。移設した資料の点検と収蔵品管理システムを整備（12月～2月）。
- (3) 施設の管理
樹木管理、清掃業務、点検業務等を委託
- (4) 博物館実習
8月6日（水）～8日（金）、10日（日）、13日（水）の5日間実施
修了者7人（愛知大学、愛知学院大学、中部大学、同朋大学、静岡大学、京都女子大学）

(5) その他

- ・愛知県博物館協会理事館としての活動
- ・愛知県史跡整備市町村協議会理事館としての活動
- ・文化庁等が主催する学芸員研修の受講
 - 文化財担当者研修（土器・陶磁器調査課程 対面）
 - ミュージアム・トップマネジメント研修（3日間・対面）
 - ミュージアム・パブリックリレーションズ研修（3日間・オンライン）
- ・市民からの調査・問合せ（レファレンス）対応
- ・キャッシュレス決済の導入（12月2日より）
- ・船の科学館「海の学びミュージアムサポート」事業の助成金を受けた調査研究（「知多半島・西三河における海運の歴史学的研究」）の実施
- ・修復資料「東境村絵図」の展示公開およびギャラリートークの開催（予定）
 - 展示期間：3月20日（金）～4月5日（日）
 - 場所：企画展示室
 - ギャラリートーク：3月20日（金）、3月25日（水）、4月4日（土）
10時～および14時～（各回30分予定）